BALMUDA

AirEngine Standard

User’s Guide

取扱説明書

保証書付

日本国内 AC100V 専用 ※海外での使用は、故障の原因となります。

FOR USE IN JAPAN ONLY
※NO QUALITY ASSURANCE FOR OVERSEAS USE

EJT-1100SD Series

重　要

この度は、空気清浄機「AirEngine」をお求めいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず本書、および本書の「安全上のご注意（P.23～27）」をお読みください。

また、本書は保証書をかねておりますので、お読みになった後も大切に保管してください。

もくじ

ご使用の前に

パッケージ内容 …… 4
各部の名前　正面・背面・フィルターハッチ・底面 …… 5,6
ご使用の前に① フィルターの取り出し／セット …… 7,8
ご使用の前に② ACアダプターの接続／設置について …… 9,10

使い方

本体の操作方法 …… 11,12
運転モードインジケーターについて/運転モードについて …… 13
運転モードについて …… 13,14
センサーについて …… 15,16
360°酵素フィルター …… 17,18

お手入れ方法

フィルターのクリーニング …… 19
フィルターの交換 …… 20
お手入れ方法 …… 21,22

安全のために

安全上のご注意 …… 23,24
警告 …… 25
注意 …… 26,27

製品仕様

仕様 …… 28

お困りのときは

よくあるお問い合わせ …… 29～31
ご相談窓口 …… 32
保証とアフターサービス …… 33

保証書

保証書 …… 34

パッケージ内容

（ ）内は個数です。

本体（1）

取扱説明書
兼保証書（1）

電源コード（1）

360°酵素フィルター（1） P.17

ACアダプター（1）

※フィルターはご購入時、ビニール袋に
入った状態で本体内部に収納されています。

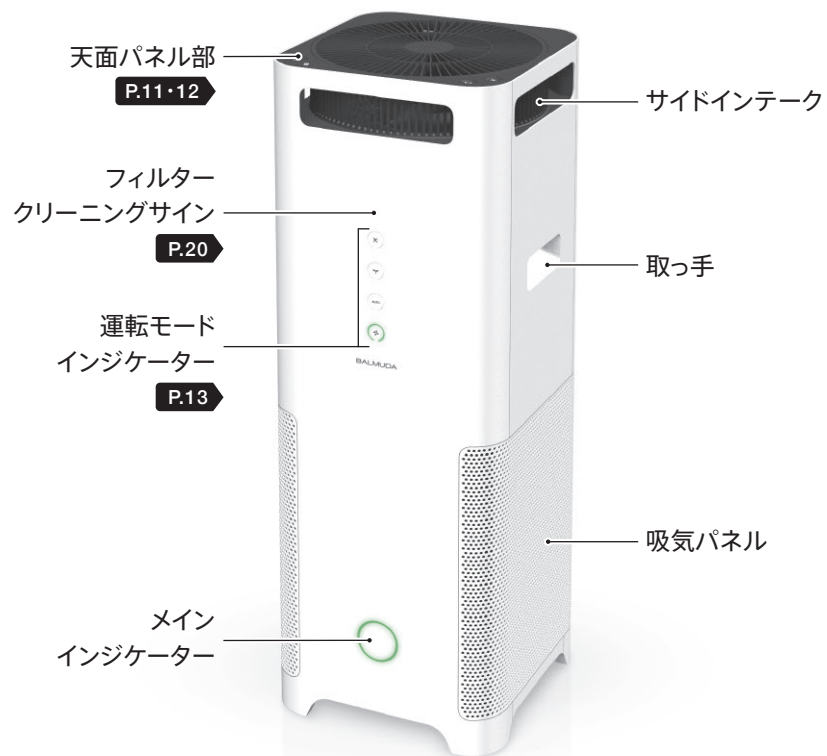
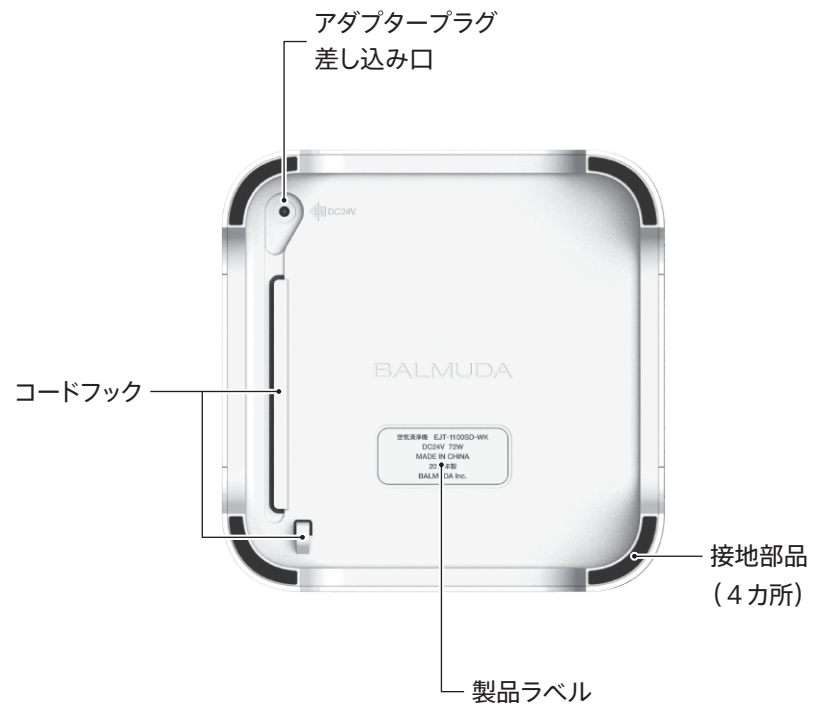
各部の名前

〈正 面〉
〈背 面〉
天面パネル部
P.11・12
サイドインテーク
フィルター
クリーニングサイン
P.20
取っ手
運転モード
インジケーター
P.13
BALMUDA
吸気パネル
メイン
インジケーター
センサーカバー
取っ手
AirEngine
フィルターハッチ
底 面

〈 フィルターハッチ 〉

シリアルナンバー
ラベル
オープンダイヤル
AirEngine
Designed by BALMUDA
取っ手

〈 底 面 〉

アダプタープラグ
差し込み口
DC24V
BALMUDA
コードフック
空気清浄機 EJT-1100SD-WK
DC24V 72W
MADE IN CHINA
接地部品
（4カ所）
製品ラベル

ご使用の前に①

フィルターの取り出し／セット

1 フィルターハッチを開ける

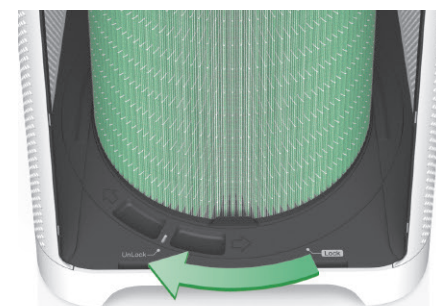
a オープンダイヤルを「OPEN」位置まで確実に回し、そのまま保持します。

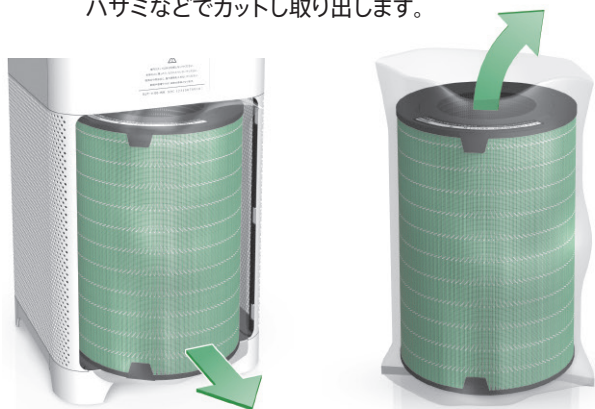
「OPEN」の位置まで確実に回すことでロックが解除されます。

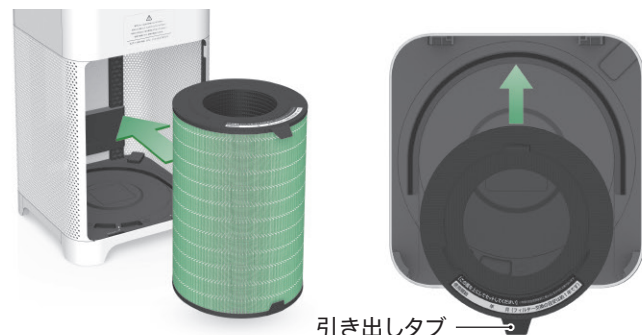
b フィルターハッチを上側から少し開きます。

c 図の矢印の方向にフィルターハッチを取り外します。

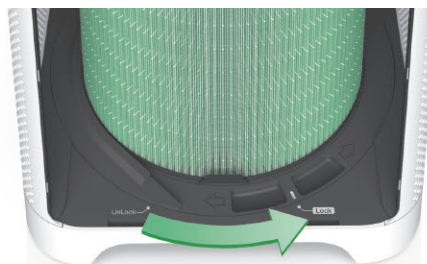
2 フィルターのロックを解除する

本体内部のフィルターロックレバーを「UnLock」の位置まで動かします。

3 ビニール袋から取り出す

本体から取り出したフィルターのビニール袋を
ハサミなどでカットし取り出します。

4 フィルターをセットする

引き出しタブを手前側にして、本体内部へセットします。

奥の凸形状に当たるまで確実にセットします。

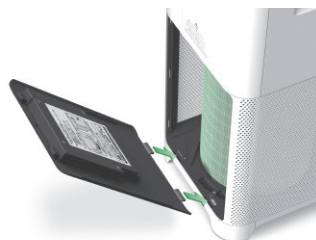
5 フィルターをロックする

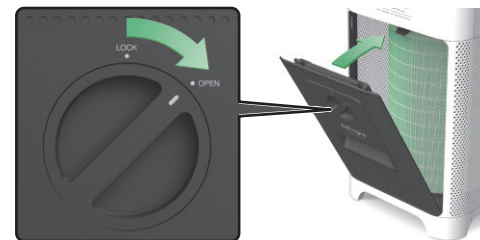
フィルターのロックレバーを「Lock」位置まで動かすと
フィルターが本体内に固定されます。

Lock
フィルターが本体内に
固定されます。

UnLock
フィルターの取りはずしが
可能になります。

6 フィルターハッチを取り付ける※

※フィルターハッチが正しく閉じられていない場合、本体は動作しません。

d 本体側の差し込み口にフィルターハッチ下部のツメを差し込みます。

e オープンダイヤルを「OPEN」位置まで確実に回してから、フィルターハッチを閉じます。

ご使用の前に②

ACアダプターの接続

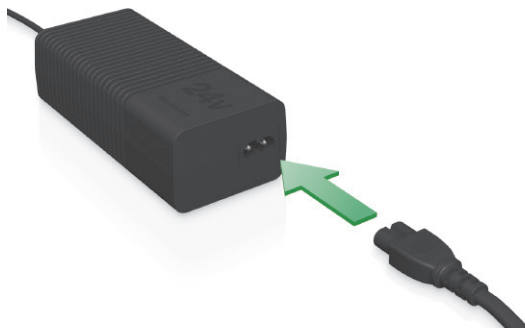
1 アダプタープラグを接続する

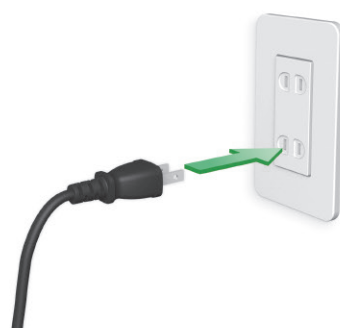
本体を柔らかい布の上などにゆっくりと倒し、アダプタープラグ差し込み口にアダプタープラグを差し込み、b と c の 2 カ所のフックにコードを引っかけます。作業が完了したら本体を起こしてください。

※上記イラストは背面を下側にして倒した状態です。

2 電源プラグを接続する

本体を起こし、ACアダプターの電源プラグをコンセントに接続します。

a ACアダプター本体に電源コードを接続します。

b 電源プラグをコンセントに接続します。

C 図の様に接続できたら
準備は完了です。

設置について

製品本来の性能を発揮するために
壁などから適当な距離をあけて
設置してください。

天井から
120cm以上

壁から
10cm以上

壁から
30cm以上

壁から
30cm以上

BALMUDA

本体の操作方法

照度センサー

周囲の明るさにより、様々な制御をします。

周囲が暗いとき、制御されるもの

・風量：オートモード時「強」の運転はしない
・音：ブザー音が小さくなる
・インジケーター：明るさが半減する
※「ジェットクリーニングモード」では、照度センサーは機能しないため、上記の機能は働きません。

電源ボタン

本体の電源を「オン／オフ」します。

電源を入れ直したときの動作

“**前回の運転終了時と同じモード**”で運転を開始します。
前回の運転後、ACアダプターやコンセントを抜いた際は、「**マニュアルモードの弱**」から運転を開始します。

チャイルドロックインジケーター

「チャイルドロック」を有効にしたときに点灯します。また、「トップファンガード」や「フィルターハッチ」が完全に閉まっていない場合など、本体が異常を感知した際に点滅してエラーをお知らせします。

チャイルドロックの設定と解除

小さなお子様の誤操作を防止したいときに、「電源ボタン」を“約2秒間長押し”することで「設定／解除」が可能です。チャイルドロックが設定されているときは、インジケーターが白く点灯します。
※チャイルドロックが設定されているときは、チャイルドロック解除以外の操作はできません。また、電源「オフ」のときもチャイルドロック設定が可能です。

トップファンガード P.21・22

空気の吹き出し口のカバー部品です。
ホコリが溜まってきたら、取り外してお手入れが可能です。

ジェットクリーニングモードボタン P.13

ジェットクリーニングモードでの運転が開始されます。

ジェットクリーニング運転する

運転中にこのボタンを押すと、本製品の最大の空気清浄能力を発揮する「ジェットクリーニングモード」での運転が開始されます。
ボタンを押す度に、【10分コース→20分コース→30分コース→10分コース…】と切り替わります。
連続運転時間が終了すると、このモードを選択する前に運転していたモードに戻ります。

モード切り替えボタン

運転モードを切り替えます。

モードの切り替わり方

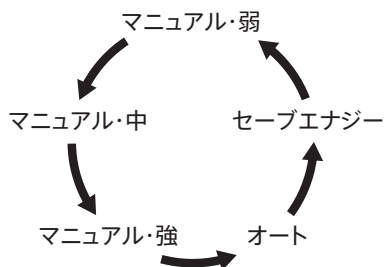
運転モードインジケーターについて

フィルタークリーニングサイン
※オレンジ色に点灯 P.19

ジェットクリーニングモード
インジケーター

セーブエナジーモード
インジケーター

オートモード
インジケーター

マニュアルモード
インジケーター

運転モードについて

ジェットクリーニングモード

「AirEngine」最大の風量が強力な循環気流を作り出し、お部屋の空気を効率的に清浄することができます。特に、「**お掃除中・お掃除後**」「**換気後**」「**お出かけ前**」「**焼き肉など強いニオイのするお料理の後**」のご使用が効果的です。また、連続の動作時間を「10分コース」・「20分コース」・「30分コース」から選択できます。ジェットクリーニングモードが終了すると、その前に運転していたモードに戻ります。

ジェットクリーニング
運転中の残り時間表示

残り20分以上 ……▶ 残り20分未満 ……▶ 残り10分未満

ジェットクリーニングモード開始時の表示	30分コース	20分コース	10分コース
ジェットクリーニング	**20分**	**10分**	**5分**
マニュアルモード「**強**」の風量	5分	5分	2分30秒
マニュアルモード「**中**」の風量	5分	5分	2分30秒
ジェットクリーニングモード運転終了後は、前に運転していたモードに戻る			

セーブエナジーモード

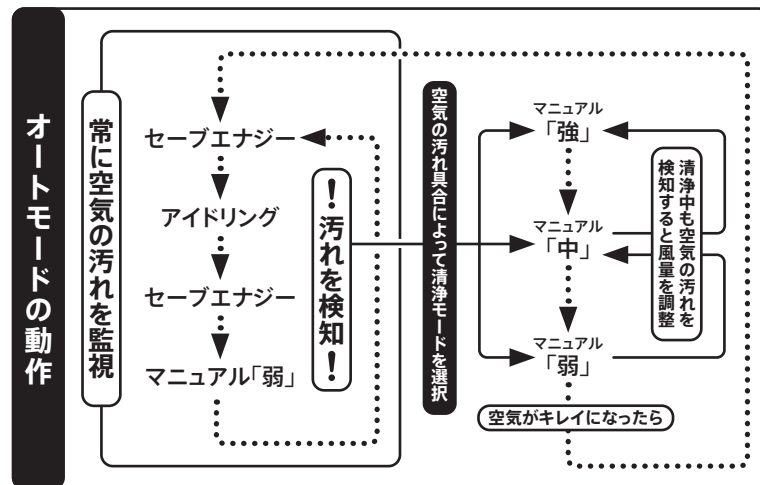
運転音が**最も静かで省エネルギー**な運転モードです。ファンの回転数を抑えた運転モードのため、「約15dB」の静音動作を実現しています。
運転音が気になる環境や就寝時、また消費電力を抑えたいときのご使用に最適です。

AUTO　オートモード

お部屋の空気の状態により、風量を自動的にコントロールする運転モードです。ホコリとニオイを検知する2つの「センサー」P.15 が空気の状態を常に監視し、汚れ(ホコリやニオイ)を検知したときに、その汚れに応じた運転モードで空気清浄をおこないます。
空気の汚れを検知していないときは、《**「セーブエナジー」▶「アイドリング」▶「セーブエナジー」▶マニュアル「弱」**》を"1サイクル"として、この運転を繰り返します。

※照度センサーが周囲を"暗い"と判断しているときは、ファン強度は「中」までに制限されます。

オートモード動作時の「アイドリングモード」について

オートモード動作時のみの運転状態として用意された「アイドリングモード」では、空気清浄を受け持つファンの回転を停止し、センサー検知に必要な空気の流れをつくるために上部ファンのみがゆっくりと回転します。その際、本製品の動作の中で最も消費電力を抑えた「約4W」の運転になります。

マニュアルモード

常に一定の空気清浄効果を得られる「弱・中・強」の3段階からご使用いただけます。
また、本製品のマニュアルモードは、空気清浄をしながら**冷暖房効率を向上させるサーキュレーター**としてもお使いいただくことができます。

センサーについて

本製品は、空気の汚れを感知する「**ホコリセンサー**」とお部屋のニオイを感知する「**ニオイセンサー**」を搭載しています。

「**オートモード**」では、センサーが「ホコリ」や「ニオイ」を感知すると、運転風量をコントロールしながら稼働します。

※「オートモード」でのみ、センサーが働きます。

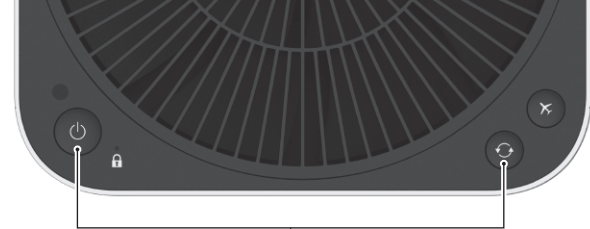
※「オートモード」については P.14 をご覧ください。

ホコリセンサーが感知しやすいもの	ニオイセンサーが感知しやすいもの
ハウスダスト（ホコリ・ダニの死骸やフン・花粉・カビの胞子）・タバコや線香の煙・ペットの毛	タバコ・線香・化粧品・アルコール・スプレー類・ペット・料理のニオイ

センサーの感度を変更する（初期設定：マイルド）

「オートモード」では、2つのセンサーの検知状況によって、ファンの回転数を細かく制御します。センサーの感度は、通常設定の「マイルド」と、より敏感な「センシティブ」の 2 つから選べます。オートモード運転による動作をより敏感に変更したい場合は、「センシティブ」のセンサー感度でご使用ください。センサーの感度設定を変更するには、電源「オフ」の状態で“「電源ボタン」と「モード切り替えボタン」を同時に2秒間長押し”します。

※センサー感度の変更に使用するボタン操作については右図 P.16 をご覧ください。

「マイルド」に変更されたときは…	「センシティブ」に変更されたときは…
ブザー音「ピ ── ッ、ピピッ」でお知らせ	**ブザー音「ピ ── ッ、ピッ」でお知らせ**

センサーの感度を切りかえるには、
電源「オフ」の状態で２つのボタンを“2秒間長押し”

ホコリセンサーの クリーニング方法

（約3ヶ月に1度）

ホコリを感知するレンズ部分が湿気やタバコのヤニなどで汚れると、感度が悪くなることがあります。下記の図のように、b 掃除機で周囲のホコリを吸い取り▶ c 乾いた綿棒でレンズの汚れを定期的に拭き取ってください。

a ホコリセンサー部のフタを上向きに開きます。

b 周囲にホコリなどが付着している場合は、掃除機などで吸い取ります。

c 乾いた綿棒でレンズを拭きます。

360°酵素フィルター

『360°酵素フィルター』は、「酵素フィルター」と取り外し可能な「触媒脱臭ユニット」を組み合わせた“セパレート構造”を特長としています。

酵素フィルター

「HEPAクラス不織布」と「酵素不織布」を２層に重ね合わせて、プリーツ状に折りたたみ円筒形状とした“集じん”に特化したフィルターです。
空気中に漂うホコリや花粉などのアレル物質の除去に加えウイルスや細菌の活動を抑制する抗菌作用を持ち合わせています。

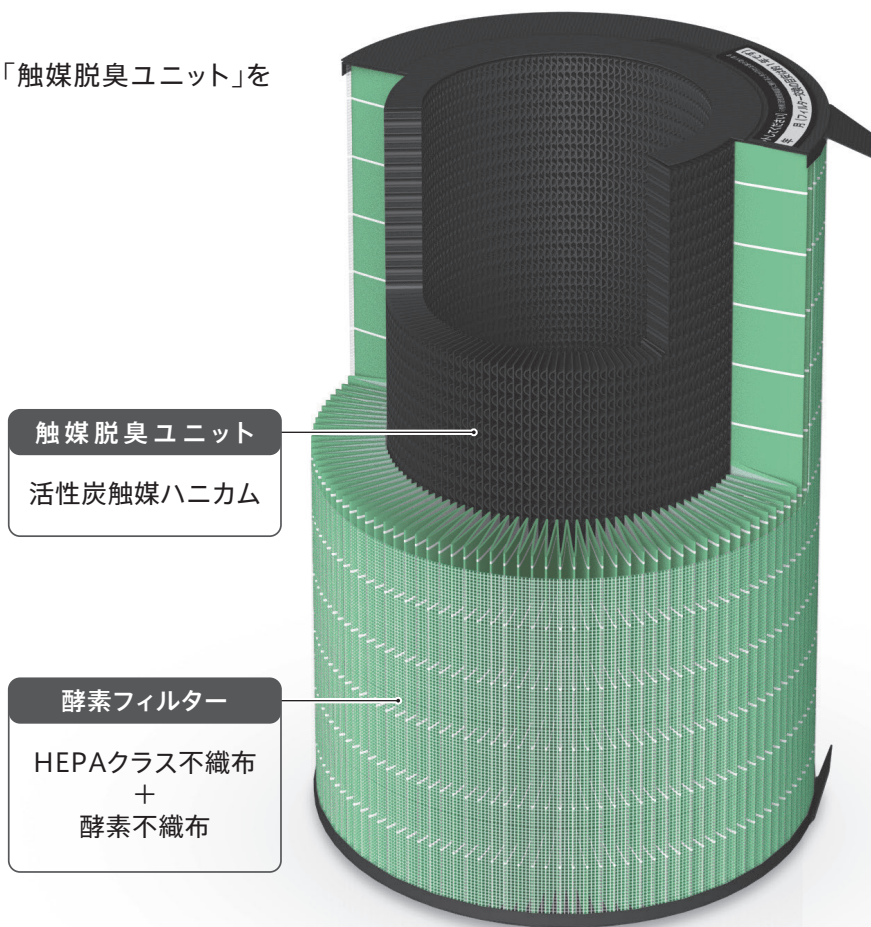
触媒脱臭ユニット

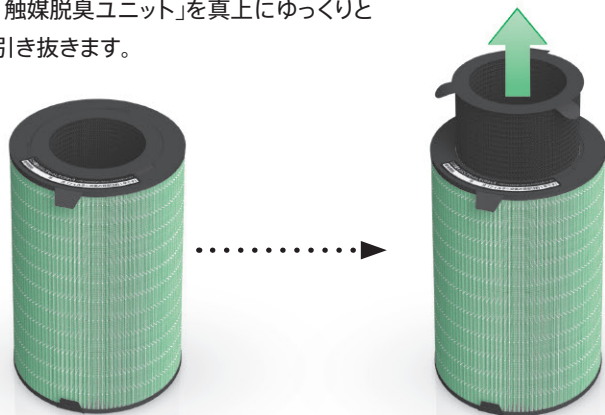
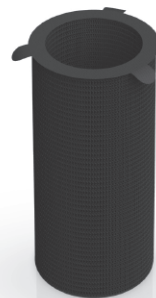
料理などの生活臭やペットのニオイ、ホルムアルデヒドなどの除去に加え、ニオイの元となる成分を分解する※ことができる機能を併せ持つ“脱臭”に特化したユニットです。

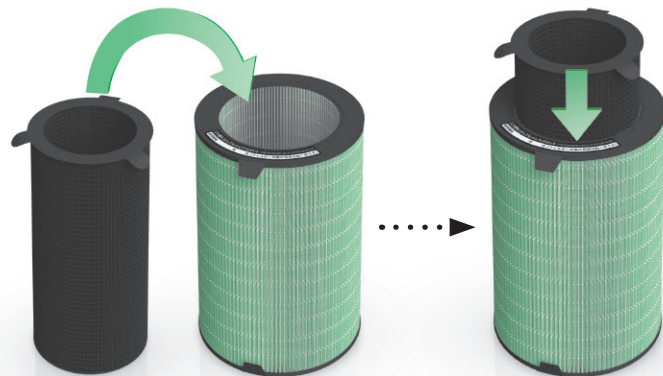
※すべての成分を100%分解するわけではありません。

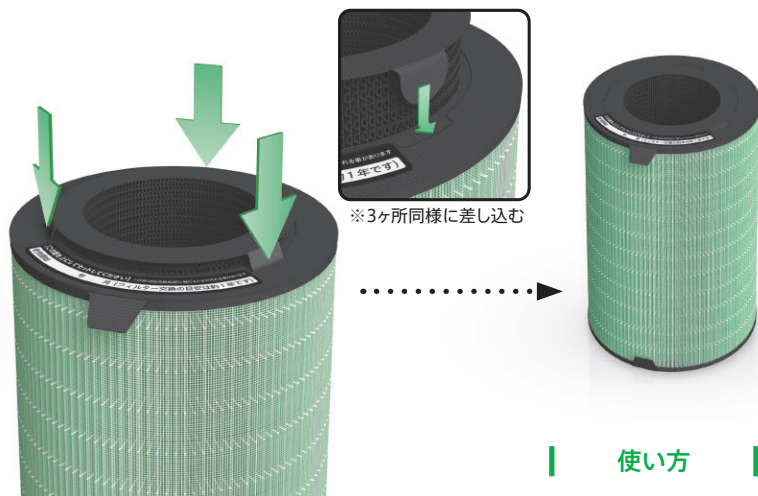
脱臭効果が薄れてきたときは…

「触媒脱臭ユニット」だけを取り外し、半日ほど風通しのよい所で天日干しすることで脱臭性能を回復させることができます。その際、水洗いはしないでください。

※上記は、新品時の性能に戻ることを保証するものではありません。

《触媒脱臭ユニットの取り外し》

a 「触媒脱臭ユニット」を真上にゆっくりと引き抜きます。

b 引き抜いた「触媒脱臭ユニット」は、風通しのよい所で天日干しすることで脱臭効果を回復させることができます。

《触媒脱臭ユニットの取り付け》

a 図のように「酵素フィルター」に「触媒脱臭ユニット」を上から組み合わせます。

b 回転止めとなる3つの凸形状のツメを差し込み、さらに天面の高さがほぼ同じ高さになるまでゆっくりと「触媒脱臭ユニット」をすべり込ませて、取り付けます。

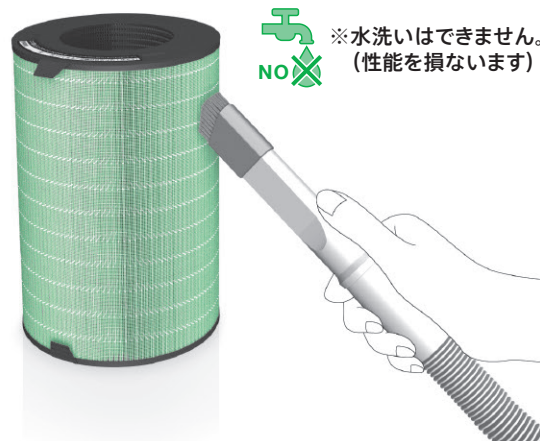
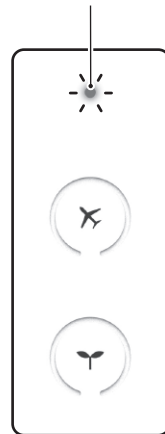
※3ヶ所同様に差し込む

フィルターの
クリーニング

「フィルタークリーニングサイン」とクリーニング方法

本体に内蔵されたタイマーにより運転時間の積算が「500時間(約3週間)」に達すると、モードインジケーター上部に“オレンジ色”の「フィルタークリーニングサイン」が点灯します。このサインが点灯したときは、本来の性能を保つためにも、フィルター周辺のクリーニングをお勧めします。

フィルタークリーニングサイン
※オレンジ色に点灯

1 「P.7,8」の手順に沿ってフィルターを取り出します。

2 フィルターの周囲に付着した大きなホコリなどを吸い取ります。
※フィルター表面をキズつけないようご注意ください。

NO ※水洗いはできません。(性能を損ないます)

ご注意 フィルターを取り出した際に、「触媒脱臭ユニット」内周の黒い面(活性炭)に触れると手が汚れることがあります。

フィルタークリーニングサインのリセット方法

本体の電源を「オフ」にして「ジェットクリーニングモードボタン」を約2秒間押し続けます。
「ピーッ」とブザー音が鳴り、フィルタークリーニングサインが消えたら積算時間のリセットは完了です。

本体の電源「オフ」の状態でボタンを“2秒間長押し”します

フィルターの交換

目安は1年に1度

フィルター交換時期について

交換時期は、使い方や設置場所によって異なります。交換の目安は『１年』となります。
空気の汚れが多い所でご使用の場合は、交換時期が早くなることがあります。

・フィルター交換のときは、汚れが周囲に付着しないように、新聞紙などを敷いてください。
・古いフィルターはお住まいの地域のごみの分別方法に従い廃棄してください。

「酵素フィルター」の主な材質 … ポリプロピレン、ポリエステル、レーヨンなど
「触媒脱臭ユニット」の主な材質 … 活性炭、触媒成分、ポリエステル、レーヨンなど

・使用環境によっては、数週間から数ヶ月でフィルターからニオイが発生し、交換が必要となる場合があります。
・フィルターは消耗品ですので保証期間中でも有料となります（型式：EJT-S200）。

※脱臭効果が薄れてきた時は「触媒脱臭ユニット」だけを取り外し、半日ほど風通しのよいところで天日干しすることで脱臭性能を回復させることができます（新品時の性能に戻ることを保証するものではありません）。

ご購入はこちらから http://www.balmuda.com/store/

お手入れ方法

本体・ファンのクリーニング

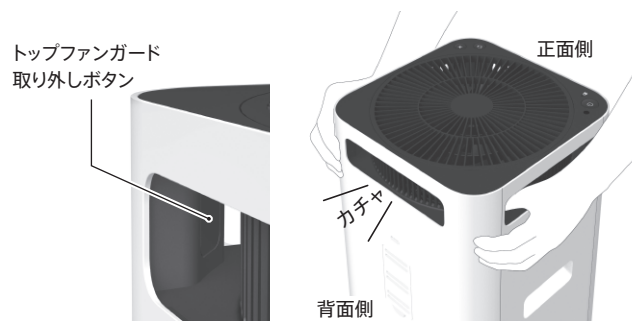
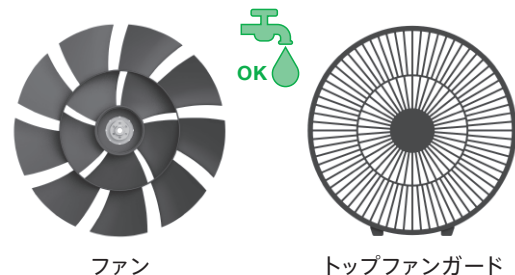
本製品の上部には
サーキュレーション効果を
発揮するファンが搭載されており、
本来の性能を保つためにも
定期的なクリーニングが必要です。

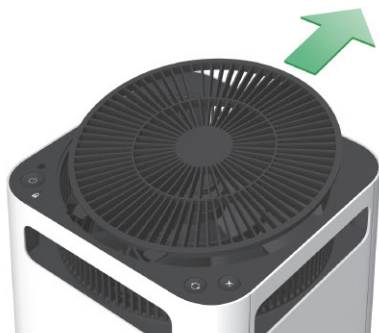
電源を外して作業

本体のクリーニング

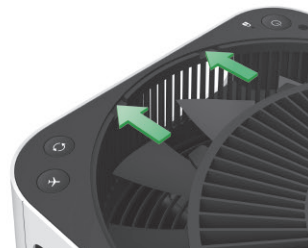
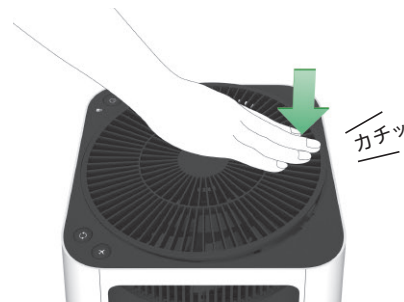
本体の外側は、掃除機のノズルなどで付着したホコリを吸い取ったり、柔らかい布で軽く拭いてください。

ファンのクリーニング

1 下図のようにサイドインテーク両側の柱の裏側にある2つのボタンを押すと、トップファンガードの一部が浮き上がります。

4 取り外せるファンなどの部品は"水洗い"が可能です。薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかいスポンジなどで水洗いすることが可能です。

※完全に乾燥させてから本体に取り付けてください。

2 トップファンガードの浮き上がった側を持ち上げ、図の方向へ引き抜き本体から取り外します。

3 ファンを固定しているファンホルダーを**時計回り**に回して取り外し、ファンを上方向へ引き抜きます。

5 本体の内側、サイドインテーク部分については、掃除機のノズルなどで付着したホコリを吸い取ったり、柔らかい布で軽い力で拭いてください。

6 **3**と逆の手順でファンを取り付けた後トップファンガードを取り付けます。

2つのツメを差し込む

「カチッ」と音が鳴るまで押さえる

安全上のご注意

必ずお守りください。

ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書に記載の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、
お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示の説明

警 告 「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示しています。

注 意 「軽傷を負う可能性や家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示しています。

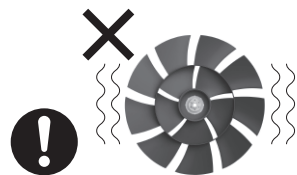
図記号の説明

禁 止 してはいけない「禁止」内容を示しています。

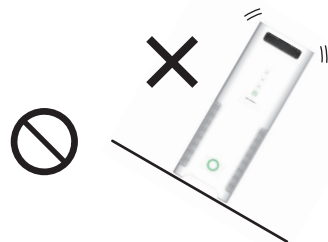
指 示 しなければならない「指示」内容を示しています。

安全にお使いいただくために

本ページに記載の症状が見られたらすぐに使用を停止し、
バルミューダサポートセンター(P.32)にご連絡ください。

ガードの中や可動部へ指や異物などを入れない。
ケガをするおそれがあります。

ファンが不規則に回るなど、異常の場合には すぐに使用を中止する。
故障・火災の可能性があります。

異音がする・異臭がする・高温になるなど、異常の場合にはすぐに使用を中止する。
故障・火災の可能性があります。

指定のACアダプター以外は使用しない。
故障・火災の可能性があります。

不安定な場所や障害物のそばでは使用しない。
転倒によりケガをするおそれがあります。

風の流れを妨げるような障害物（カーテンなど）の近くでは使わない。
カーテンなどが巻き込まれたり、吹出口・吸入口がふさがれたりすると、事故やけがの原因となります。

運転中に電源プラグを抜かない。
発熱による火災や感電の原因となります。

持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない。
コードがショートや断線して火災や感電の原因となります。

電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。
電源プラグや手についた水で感電の原因となります。

電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。
コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外で使わないでください。

電源プラグは、根元まで差し込む。
差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。

電源プラグのホコリ等は、定期的に掃除する。
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良による火災の原因となります。

お手入れや点検、移動時は、必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。
不意に動作して、感電やけがの原因となります。

幼児の手の届く所で使わない。
感電やけがの原因となります。

塩素系、酸性の洗剤は使わない。
洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害す原因となります。

吸気口や吹出口に指や棒などの異物を入れない。
感電やけが、故障などの原因となります。

次のようなところでは使わない。感電や火災、その他の損害発生のおそれがあります。

- 不安定な場所。
- 浴室など、高温・多湿・水のかかる場所。
- 油や可燃性ガスなどを使用したり、漏れるおそれのある場所。
- 腐食性ガスや金属製のホコリのある場所。
- 乳幼児の手の届く所。
- 動植物に、直接風があたる場所。
- ストーブ等の熱が直接あたる場所。
- ペットの近くで使用する場合、ペットが本体に尿をかけたり、電源コードをかじらないよう注意する。

可燃物や、火のついたタバコ・線香などを近づけない。
引火による火災の原因となります。

ベンジンやシンナーでふいたり、殺虫剤をかけたりしない。
ひび割れによるけが、ショートによる感電、引火による火災の原因となります。

煙が出るタイプの殺虫剤を使うときは、運転しない。
蓄積した薬剤成分が、吹出口から放出され、健康を害す恐れがあります。
殺虫剤の使用後は、十分に換気してから運転してください。

上に乗ったり、寄りかかったりしない。
けがや破損などの原因となります。

本体を倒さない。
けがや破損などの原因となります。

⚠ 注 意 ②

移動するときは運転を止め、本体側面の取っ手をしっかり持つ。
指定された取っ手以外を持つと、落下によるけがの原因となります。

電源プラグは、プラグ部を持って抜く。
破損し、感電やショート、火災の原因となります。

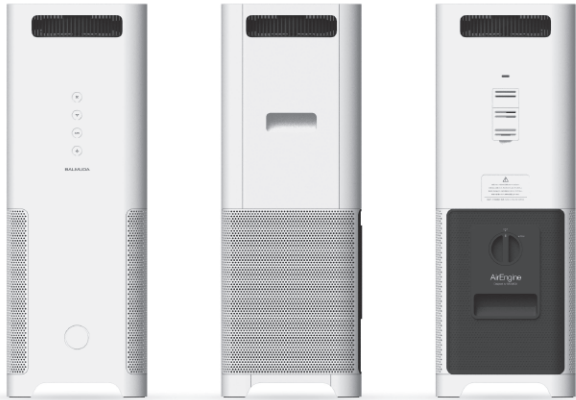
燃焼器具と一緒に使うときは、換気する。
一酸化炭素中毒の原因となります。
本体を運転しても、換気をすることはできません。

吸込口や吹出口を、洗濯物や布、カーテンなどでふさがない。
空気の循環が悪くなり、発熱や発火の原因となります。

美術品や学術資料などの保存、業務用などの特殊用途には使わない。
保存品の品質低下の原因となります。

運転中は、空気清浄機の位置を変えない。
けがをするおそれや故障などの原因となります。

髪をガードに近づけない。
髪が巻き込まれけがをするおそれや故障などの原因となります。

仕　様

本体*3

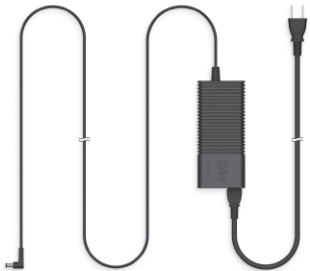
製品名	AirEngine（エア エンジン）					
型式番号	EJT-1100SD					
適用床面積（目安）	～36畳*1					
清浄時間	8畳を8分*1					
運転モード	ジェットクリーニング	強	中	弱	セーブエナジー	アイドリング*2
総風量	10.5㎥/min	6.9㎥/min	4.2㎥/min	3.0㎥/min	2.0㎥/min	―
清浄風量	6.6㎥/min	4.8㎥/min	3.2㎥/min	2.5㎥/min	1.3㎥/min	―
消費電力	72W	30W	15W	10W	5W	4W
運転音	60dB	50dB	40dB	30dB	15dB	7dB以下
製品寸法	W250×D250×H700（mm）					
製品質量	約8.0kg（フィルター含む）					

*1 「適用床面積」ならびに「清浄時間」の数値は、「JEM1467」に基づく数値です（「ジェットクリーニングモード」運転時）。

*2 「アイドリングモード」は、「オートモード」時においてのみ動作します。

※ 上記に記載のすべての値は「酵素フィルター」と「触媒脱臭ユニット」を組み合わせて使用した場合の数値です。

※ 本製品は、お部屋全体の空気を効率的に清浄するために独自の「Wファン構造」を採用しています。
「清浄風量」は、360°酵素フィルターを通過し清浄される空気の量、「総風量」は機器上面から吹き出す空気の量を表しています。

※「セーブエナジーモード」と「アイドリングモード」時の消費電力は、照度センサーが周囲の明るさを判断し、前面インジケーターの明るさを半減した場合の数値です。

ACアダプター*3

定格入力電圧	AC100V
定格入力容量	102VA
定格周波数	50/60Hz
定格出力電圧	DC24V
定格2次電流	最大3.75A
DC側コード長さ	約1.8m

電源コード*3

コード長さ 約1.0m

*3 日本国内AC100V専用
海外での使用は、故障の原因となります。

FOR USE IN JAPAN ONLY
NO QUALITY ASSURANCE FOR OVERSEAS USE

よくあるお問い合わせ

症　状	お確かめいただくところ	対処方法	ページ
電源が入らない。	□「電源プラグ」が正しく差し込まれていますか？	下記が正しく接続されていることを確認してください。 ▶ 電源プラグとコンセントの接続 ▶ ACアダプターと電源コードの接続 ▶ 底面のアダプタージャック差込口とアダプタープラグの接続	P.9
	□ 本体正面の「インジケーター」は点灯していますか？	「電源ボタン」を確実に押して操作してください。 ▶「本体の操作方法」をご覧になり、操作方法をご確認のうえ、必要に応じて「オン／オフ」を行なってください。	P.11
	□「チャイルドロック」を設定していませんか？	「チャイルドロック」を解除してください。	P.11
	□「フィルターハッチ」は正しく取り付けられていますか？	「フィルターハッチ」の取り付けかたをご確認ください。	P.7,8
	□「トップファンガード」は正しく取り付けられていますか？	「トップファンガード」の取り付けかたをご確認ください。	P.22
	□ ご使用地域は停電中ではありませんか？	▶ 電気の供給をお待ちください。	
	□ ご使用場所のブレーカーはオンになっていますか？	▶ ブレーカーをオンにしてください。	
風が出てこない。 風量が変化しない。 風量が購入当初より弱くなった。	□ フィルターをビニール袋から取り出して使用していますか？	▶ ご購入時はビニール袋に入っています。 ビニール袋から取り出してご使用ください。	P.7,8
	□ フィルターは正しく取り付けられていますか？	▶ フィルターが正しくセットされているかご確認ください。	P.7,8
	□ フィルターは汚れていませんか？ 汚れの度合いによっては風量に影響する場合がございます。	▶ フィルターのクリーニングを行なってください。 改善しない場合は、フィルターの交換が必要です。	P.19,20
	□ 現在の「運転モード」をご確認ください。 「オートモード」や「セーブエナジーモード」になっていませんか？	▶「運転モードについて」をご確認ください。 ▶「モード切り替えボタン」を操作して、 「運転モード」の変更可能なことをご確認ください。	P.13,14
操作していないのに 風量が変わった。	□ 現在の「運転モード」をご確認ください。 「オートモード」では「ホコリ」や「ニオイ」を検知すると 自動的に運転モードを変更します。	▶「運転モードについて」をご確認ください。	P.13,14
ものすごく強い風になった。	□「ジェットクリーニングモード」を選ばれていませんか？ 短時間でお部屋の空気を強力に清浄する機能です。	▶「運転モードについて」をご確認ください。 必要に応じたモードを選択してください。	P.12 P.13

症　状	お確かめいただくところ	対処方法	ページ
オートモードにしているのに、「ホコリ」や「ニオイ」に反応しない。	□ センサー部分が壁や障害物でふさがれていませんか?	▶「設置について」をご確認ください。 また、ふさがれている場合は障害物を除去してください。 障害物がない場合は、本体背面側の「センサー部」のクリーニングを実施してください。	P.10 P.16
	□ センサーの感度設定はどちらになっていますか?	▶「センサーの感度を変更する」をご確認ください。 センサーの感度設定は「マイルド」と「センシティブ」から選択してご使用いただけます。	P.15
送風口からニオイがする。	□ フィルターの「触媒脱臭ユニット」が新品ではありませんか?	▶ 高性能の活性炭を原料としているため、ご使用開始当初は甘いニオイがすることがあります。通常、1 週間ほどのご使用で初期のニオイは、徐々に軽減されます。	P.17
	□ 多人数での喫煙、焼肉などのお料理で一時的に多量のニオイが発生する空間で使用しませんでしたか?	▶ フィルターはニオイを吸着させる性質をもつため、一時的にニオイを蓄積します。 しばらく運転を行うことで徐々に軽減されます。	
	□「触媒脱臭ユニット」に含まれる活性炭などから、かすかに甘いニオイがする場合があります。	▶「触媒脱臭ユニット」を取り外してご使用いただくことも可能です。その際、脱臭効果はなくなります。「触媒脱臭ユニット」はビニール袋などに入れて保管してください。	P.17,18
	□ 別のお部屋から移動されましたか?	▶ 以前にお使いだったお部屋のニオイがする場合があります。 しばらく運転を行うことで徐々に軽減されます。	
チャイルドロックインジケーターが点滅。	□「フィルターハッチ」は正しく取り付けられていますか? □「トップファンガード」は正しく取り付けられていますか?	▶「フィルターハッチ」の取り付け方をご確認ください。 ▶「トップファンガード」の取り付け方をご確認ください。	P.7,8 P.21,22
フィルター交換の目安は?	□ フィルター交換の目安は、「約 1 年」です。	▶ フィルターのご使用開始時期を確認してください。 ご使用開始から 1 年以上経過している場合、 新しいフィルターへの交換をお勧めします。	P.20
フィルタークリーニングサインが点灯。	□ 運転時間の積算がクリーニングの時期をお知らせしています。	▶ フィルターのクリーニングを行ってください。	P.19
フィルタークリーニングサインが消えない。	□ フィルター交換サインのリセットを実施していますか?	▶ フィルター交換サインのリセットを実施してください。	P.20

よくあるお問い合わせ

症　状	お確かめいただくところ	対処方法	ページ
ファンがはずれない。	□「ファンホルダー」を緩める回転方向はあっていますか？	▶「お手入れ方法」をご確認ください。	P.22
フィルターから黒い粉が出る。	□「触媒脱臭ユニット」の原料として使用されている活性炭の粉です。	▶ 人体には無害ですが、フィルターの交換作業等を行うときは、新聞紙などを敷いてください。	P.17-20
運転中に送風以外の音がする。	□「マニュアルモード」で運転し、風量の変更を行なってください。選択されたモードによって音質は変化しますか？	▶「本体の操作方法」「運転モードについて」をご確認ください。ファンモーターから回転音が発生している可能性があるため規定の音量かを確認いたします。「バルミューダサポートセンター」までお問合せください。	P.11-14
急にインジケーターが暗くなった。	□「照度センサー」が周囲の明るさを判断し暗くなったときは、インジケーターを暗くします。	▶「本体の操作方法」をご確認ください。	P.11
急に操作音が小さくなった。	□「照度センサー」が周囲の明るさを判断し暗くなったときは、操作時のブザー音を小さくします。	▶「本体の操作方法」をご確認ください。	P.11
夜間（部屋が暗いとき）、オートモードが「強」モードにならない。	□「照度センサー」が周囲の明るさを判断し暗くなったときは、「オートモード」は「マニュアル・中」までの運転にとどめます。	▶「本体の操作方法」をご確認ください。	P.11
運転切り替えができない。	□ チャイルドロックを設定していませんか？	▶「本体の操作方法」をご確認ください。	P.11
ニオイが消えない。	□「触媒脱臭ユニット」の能力はある程度回復させることができます。※ご使用の環境によっては回復しない場合もあります。	▶ 取り外した「触媒脱臭ユニット」を半日ほど風通しのよい所で天日干しにしてください。	P.17,18 P.20
	□ 常時発生し続けるにおい成分（ペット臭、建材臭）はすべて除去できるわけではありません。	▶ 常時発生し続けるニオイは除去しきれないため、お部屋の換気などを併用してご使用ください。	
前面のインジケーターが点滅して本体が動かなくなった。	□ 本体が何らかのエラーを検知し、動作を停止しています。※「運転モードインジケーター」の点滅は、本体が検知しているエラー内容を示しています。	▶「本体の操作方法」をご確認いただき、「電源ボタン」を下記の手順で操作してください。《１回目の操作》➡電源が「オフ」になります。《２回目の操作》➡電源が「オン」になり、正常動作します。万一、《２回目の操作》を行なっても、正常に動作を開始しない場合は、「バルミューダサポートセンター」までお問い合わせください。	P.11

ご相談窓口

バルミューダサポートセンター（通話料無料）

0120-686-717

受付時間 10:00〜18:00 土・日・祝、弊社休業日を除く
携帯・自動車電話・PHSからもご利用になれます。

IP電話などフリーダイヤルをご利用いただけない場合は「0422-34-1705」におかけください。
※通話料はお客様負担となります。

インターネットからのお問い合わせ

検索サイトにて「バルミューダ」のキーワードで検索いただくか、
www.balmuda.com/jp/support/をご覧ください。

※ご使用製品の型式（P.34の保証書内に記載）をご確認のうえ、ご連絡ください。

保証とアフターサービス

修理に関するご相談ならびにお取り扱い・お手入れに関するご不明な点はバルミューダサポートセンター(P.32)までご相談ください。

1)保証書は必ず「お買い上げ年月日」と「販売店印」など所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

2)保証期間は、お買い上げ日から1年間です。修理を依頼されるときは、バルミューダサポートセンターまでお問い合せください。保証書の内容に従って修理いたします。

3)保証期間経過後の修理についても、バルミューダサポートセンターまでお問い合せください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

4)この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5)製品に異常がある場合、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは大変危険です。絶対にしないでください。

6)本体付属の消耗品(フィルターなど)については、保証の対象外となります。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

1)バルミューダ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残す事があります。

2)次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。

a)修理やその確認業務を委託する場合。

b)法令の定める規定に基づく場合。

3)個人情報に関するご相談は、バルミューダサポートセンターまでお問い合わせください。

保 証 書

型式：EJT-1100SD Series

保証期間：お買い上げ日より1年
本体・ACアダプター（本体付属）

お買い上げ日　　年　　月　　日

※お客様　お名前

ご住所

お電話番号

※販売店　　－　　－

店名・住所・電話番号

この保証書は、本書記載内容で無償修理をおこなうことをお約束するものです。 お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき当社が無償修理いたしますので、商品と本保証書をご用意のうえ、バルミューダサポートセンター（P.32）までご依頼ください。

1）保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。
(a) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(b) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、塩害、輸送などによる故障または損傷。
(c) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
(d) 車両、船舶への搭載や、極端な高温、低温、多湿、埃の多い場所などで使用された場合の故障または損傷。
(e) 一般家庭以外（例えば業務用など）で使用された場合の故障または損傷。
(f) 本書のご提示がない場合。
(g) 本機のご購入を証明するレシート等の証明書が無く、本書に
お買い上げ年月日、お客様名、販売店名が確認できない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
(h) フィルター、バッテリーなどの消耗品の場合。（ただし、損害が材質上または製造上の瑕疵により生じた場合はこの限りではありません）
(i) 表面的な損傷の場合。（かすり傷、へこみなどを含みます）
(j) 高温多湿の場所など保存上の不備、経年劣化、自然消耗による瑕疵の場合。

2）保証期間内でも、商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
3）故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合があります。
4）修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。
また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
5）本書に基づく無償修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
6）故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
7）本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
8）本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

バルミューダ株式会社　〒180-0023　東京都武蔵野市境南町 5-1-21